

# 2020年11月の天候

令和2年12月7日  
盛岡地方气象台

この資料内のデータは速報値です。  
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

## 《 特 徴 》

【月平均気温が高い】【月降水量が少ない】【月間日照時間が多い】

### 1 天候経過

#### 〈天候の特徴〉

上旬は前線や気圧の谷の影響で曇りの日が多かった。中旬から下旬にかけて高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変わり、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となる日があった。

月平均気温は平年より高かった。月降水量は平年より少なく、沿岸南部は平年よりかなり少なかった。月間日照時間は平年より多いからかなり多かった。

上旬：前線や高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。前線の通過後は冬型の気圧配置となる日が多く曇りや雨の日が多かった。盛岡では9日に初雪を観測した(平年より3日遅い)。旬平均気温は内陸で平年並、沿岸では平年並から平年より高かった。旬降水量は内陸で平年並から平年より少なく、沿岸で平年より少なかった。旬間日照時間は平年より少なかった。

中旬：前線や高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わったが、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。19日から20日にかけて低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、県内12地点で日最高気温の高い方からの11月として1位を更新した。旬平均気温は内陸で平年より高く、沿岸で平年よりかなり高かった。旬降水量は内陸で平年並から平年より少なく、沿岸で平年より少なかった。旬間日照時間は平年よりかなり多かった。

下旬：高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり雪の降る所があった。旬平均気温は平年より高く、県の北部では平年並の所があった。旬降水量は内陸と沿岸南部で平年並から平年より少なく、沿岸北部で平年より多かった。旬間日照時間は内陸と沿岸南部で平年並から平年より多く、沿岸北部で平年より多いから平年並だった。

#### ○盛岡、宮古、大船渡の旬及び月統計値

地点\要素	平均気温	平年差	階級区分	降水量	平年比	階級区分	日照時間	平年比	階級区分	
盛岡	上旬	8.1	-0.1	平年並	16.5	51	少ない	37.6	84	少ない
	中旬	7.4	1.7	高い	22.5	80	平年並	54.9	159	かなり多い
	下旬	5.0	1.2	高い	17.5	59	平年並	34.9	92	少ない
	月	6.8	0.9	高い	56.5	63	かなり少ない	127.4	109	多い
宮古	上旬	10.3	0.4	平年並	1.5	5	少ない	41.1	79	少ない
	中旬	10.4	2.7	かなり高い	1.0	4	少ない	59.9	129	かなり多い
	下旬	6.5	0.6	高い	11.0	44	平年並	50.0	100	平年並
	月	9.0	1.2	高い	13.5	17	かなり少ない	151.0	103	平年並
大船渡	上旬	10.5	0.0	平年並	7.0	20	少ない	48.7	102	平年並
	中旬	10.1	2.0	高い	3.5	14	少ない	64.5	155	かなり多い
	下旬	7.4	1.0	高い	4.5	13	少ない	49.2	109	多い
	月	9.3	1.0	高い	15.0	16	かなり少ない	162.4	120	かなり多い

〈単位 気温:°C 降水量:mm 日照時間:h 平年差(比):°C(%)〉 平年値:1981~2010年の平均値

## 2 日別の気圧配置

- 1日：三陸沖の高気圧が日本の東に移動する。
- 2日：間宮海峡の低気圧が発達しながらオホーツク海へ進む。また、この低気圧からのびる寒冷前線が日本付近を通過する。
- 3日：日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 4日：引き続き北日本は冬型の気圧配置となる。一方、黄海の高気圧が西日本に張り出す。
- 5日：日本付近は移動性高気圧に覆われる。
- 6日：引き続き、日本付近は移動性高気圧に覆われる。
- 7日：日本のはるか東の高気圧が東に移動する。一方、千島近海の低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 8日：日本海北部の低気圧が北海道付近へ進む。また、北日本は気圧の谷となる。
- 9日：北海道付近の低気圧が千島の東へ進み北日本は冬型の気圧配置となる。
- 10日：冬型の気圧配置が緩む。一方、黄海の高気圧が西日本に張り出す。
  
- 11日：日本付近は移動性高気圧に覆われる。
- 12日：引き続き、日本付近は移動性高気圧に覆われる。
- 13日：沿海州の低気圧がオホーツク海へ進む。また、この低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 14日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、中国東北区の高気圧が日本海に移動する。
- 15日：日本付近は移動性高気圧に覆われる。
- 16日：北日本は気圧の谷となる。
- 17日：日本海の高気圧が日本の東に移動する。
- 18日：日本の東の高気圧が日本のはるか東に移動する。一方、前線が朝鮮半島付近から北海道付近を通過して千島近海にのびる。
- 19日：朝鮮半島付近の低気圧が日本海中部へ進む。また、この低気圧からのびる前線が北海道付近を通過して千島の東にのびる。
- 20日：北海道付近の低気圧が千島の東へ進む。また、この低気圧からのびる寒冷前線が日本付近を通過する。
  
- 21日：北日本は冬型の気圧配置となる。一方、中国東北区の高気圧が日本海中部に移動する。
- 22日：東日本の高気圧が日本の東に移動する。一方、日本海西部の低気圧が秋田沖へ進む。この低気圧からのびる前線が北日本を通過する。
- 23日：三陸沖の低気圧が千島の東へ進み、北日本は冬型の気圧配置となる。
- 24日：冬型の気圧配置が緩む。一方、日本付近は移動性高気圧に緩やかに覆われる。
- 25日：日本の東の高気圧が東に移動する。一方、伊豆諸島付近の低気圧が日本の東へ進む。
- 26日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 27日：山陰沖の低気圧が能登半島付近へ進む。また、伊豆諸島付近の低気圧が日本の東へ進む。
- 28日：日本海の低気圧が三陸沖へ進み、北日本は冬型の気圧配置となる。
- 29日：冬型の気圧配置が緩む。一方、伊豆諸島付近の低気圧と日本海西部の低気圧が、それぞれ東へ進む。
- 30日：北日本は気圧の谷となる。

### 3 気象統計値表

#### ○気象官署及び特別地域気象観測所(11月として5位まで記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日最低気温の高い方から	℃	宮古	3	15.0	2020年11月20日	1883年
日最高気温の高い方から	℃	大船渡	3	22.6	2020年11月20日	1963年
月降水量の少ない方から	mm	大船渡	3	15.0	2020年11月	1963年

#### ○アメダス(11月として1位更新:統計期間10年以上の要素を記載)

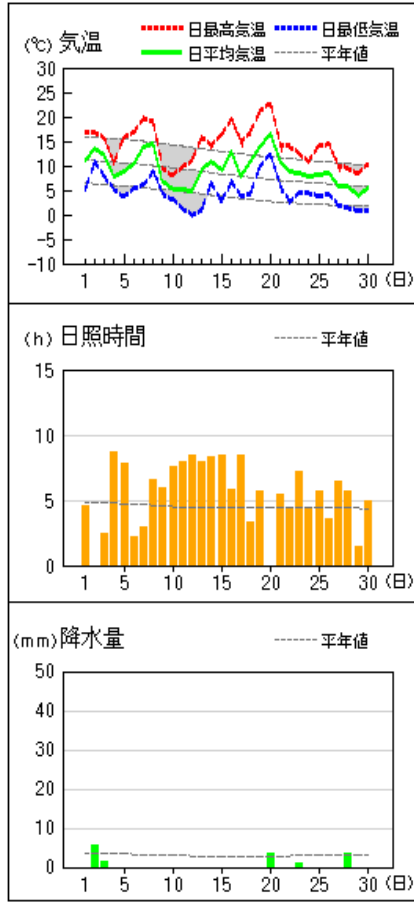
要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計開始
日最高気温の高い方から	℃	種市	1	23.3	2020年11月20日	1976年
		山形	1	24.4	2020年11月19日	1977年
		久慈	1	23.8	2020年11月20日	1976年
		奥中山	1	19.4	2020年11月19日	1977年
		葛巻	1	21.8	2020年11月19日	1977年
		普代	1	24.1	2020年11月19日	1976年
		好摩	1	21.0	2020年11月19日	1977年
		小本	1	26.0	2020年11月19日	1977年
		藪川	1	20.5	2020年11月19日	1976年
		区界	1	19.9	2020年11月19日	1993年
		川井	1	25.2	2020年11月19日	1978年
		山田	1	22.9	2020年11月20日	1976年
日最低気温の高い方から	℃	山形	1	12.0	2020年11月20日	1977年
日最大10分間降水量	mm	山形	1	3.5	2020年11月20日	2009年
		奥中山	1	5.0	2020年11月20日	2008年
		葛巻	1	3.5	2020年11月20日	2008年
		附馬牛	1	5.5	2020年11月20日	2009年
		米里	1	4.0	2020年11月20日	2009年
日最大1時間降水量	mm	附馬牛	1	12.0	2020年11月20日	2005年
日最大瞬間風速・風向	m/s	種市	1	WNW 17.4	2020年11月24日	2008年
		葛巻	1	NW 23.3	2020年11月16日	2008年
月間日照時間の多い方から	h	一関	1	152.6	2020年11月	1987年

注)「年1」は通年の極値更新を表す。

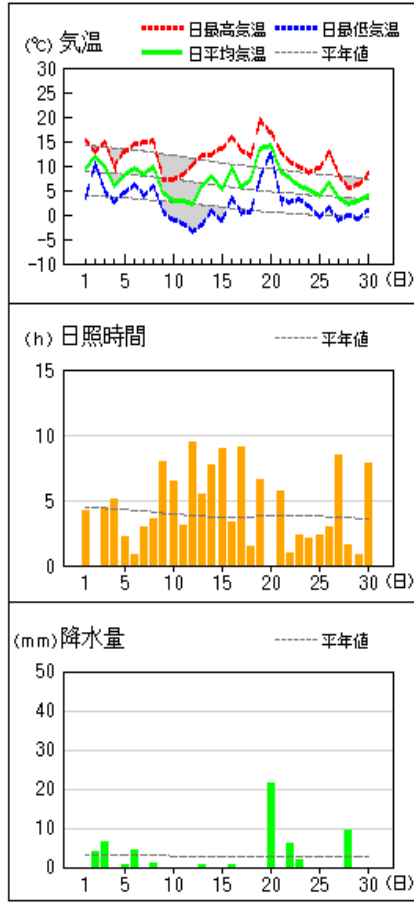
# 4 気象経過図

アメダス 気象経過図：2020年11月01日-2020年11月30日

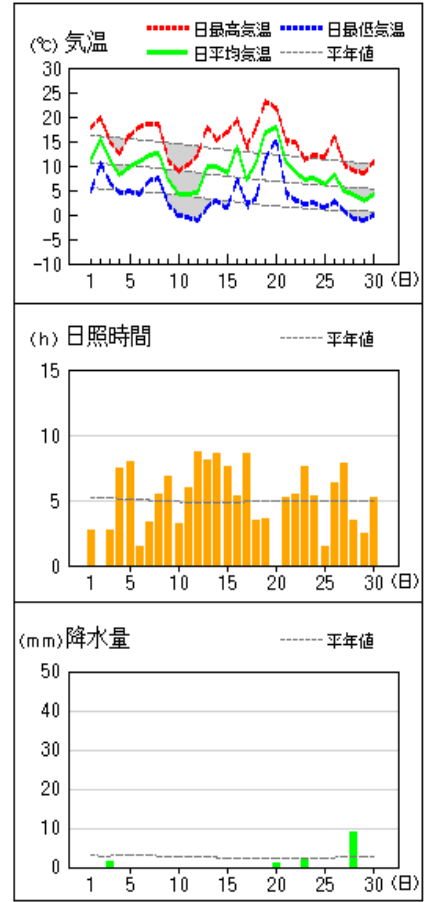
大船渡



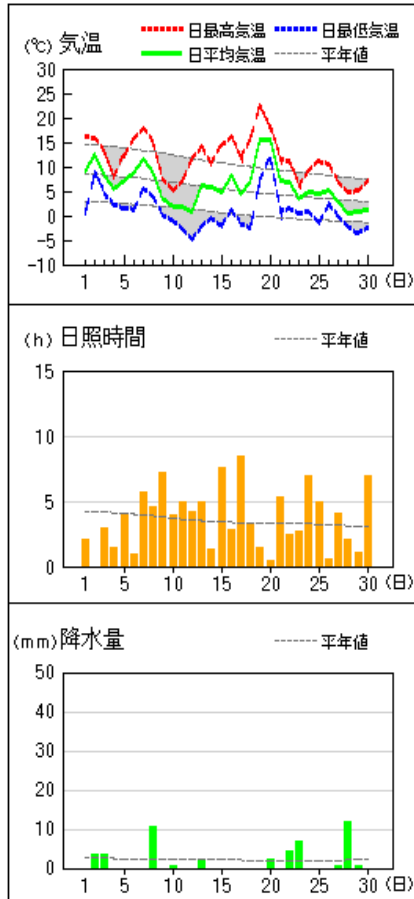
盛岡



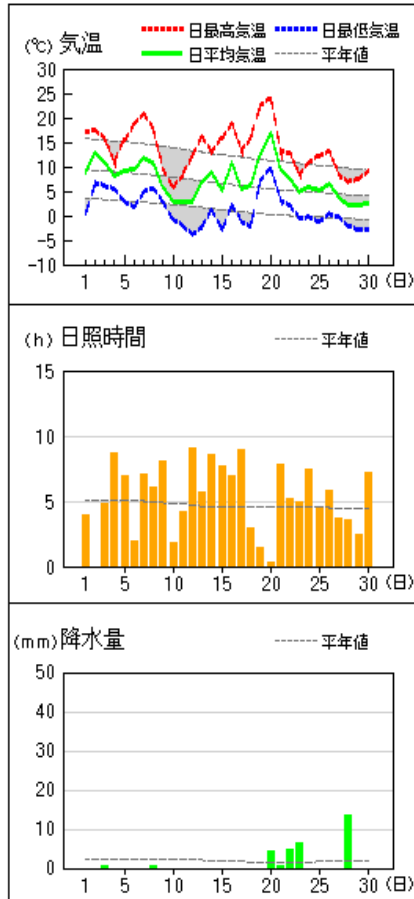
宮古



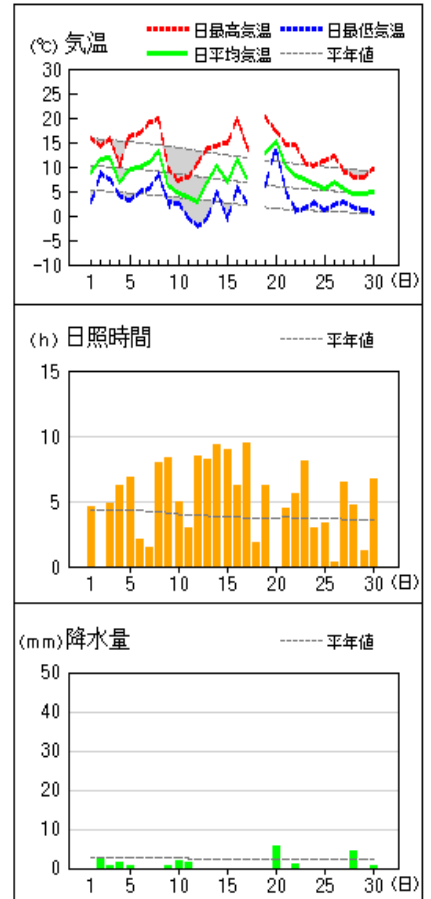
二戸



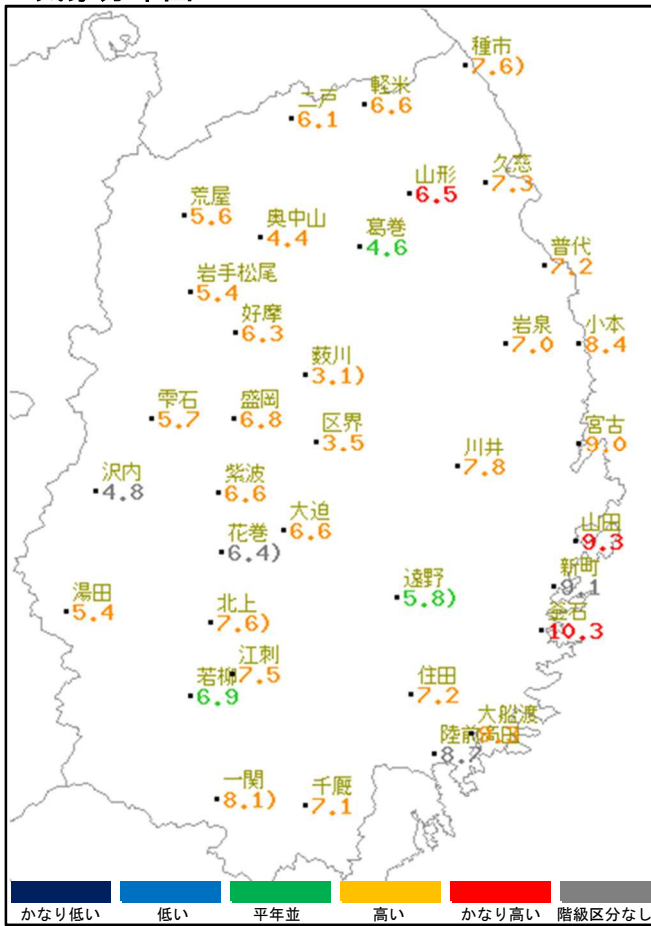
久慈



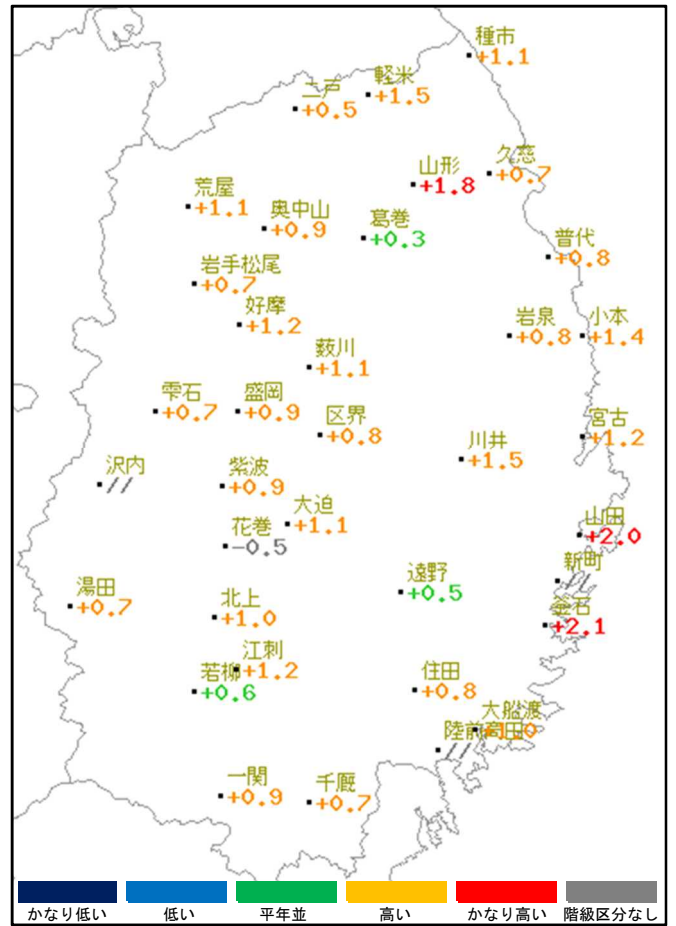
一関



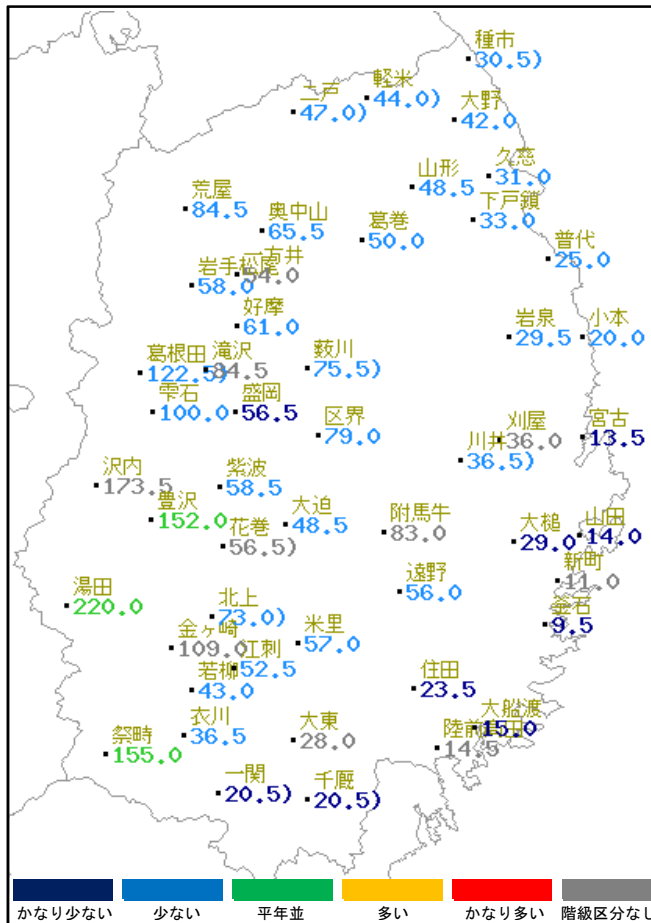
# 5 気象分布図



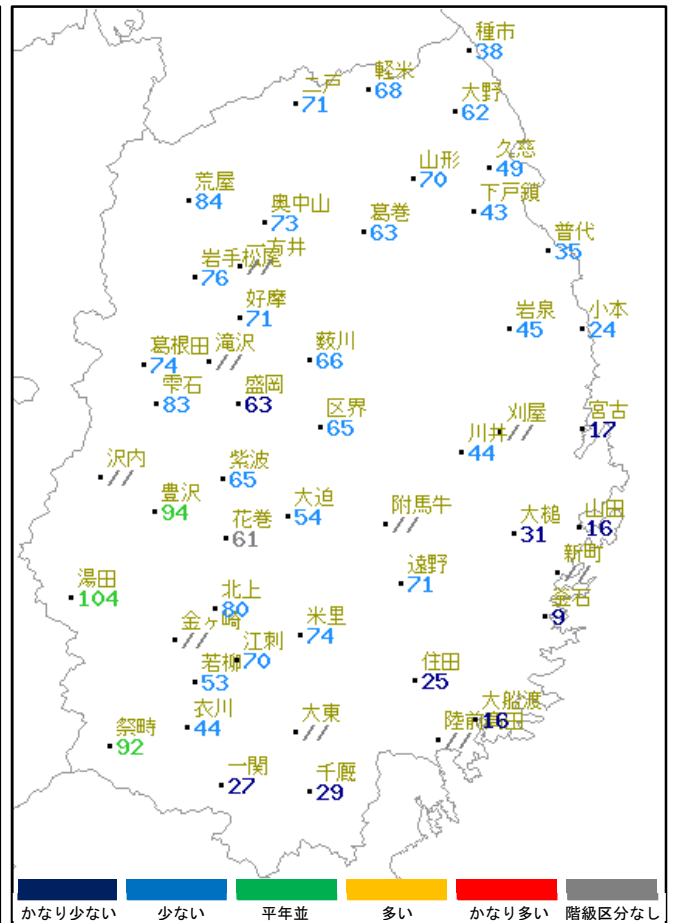
月平均気温実況値(°C)



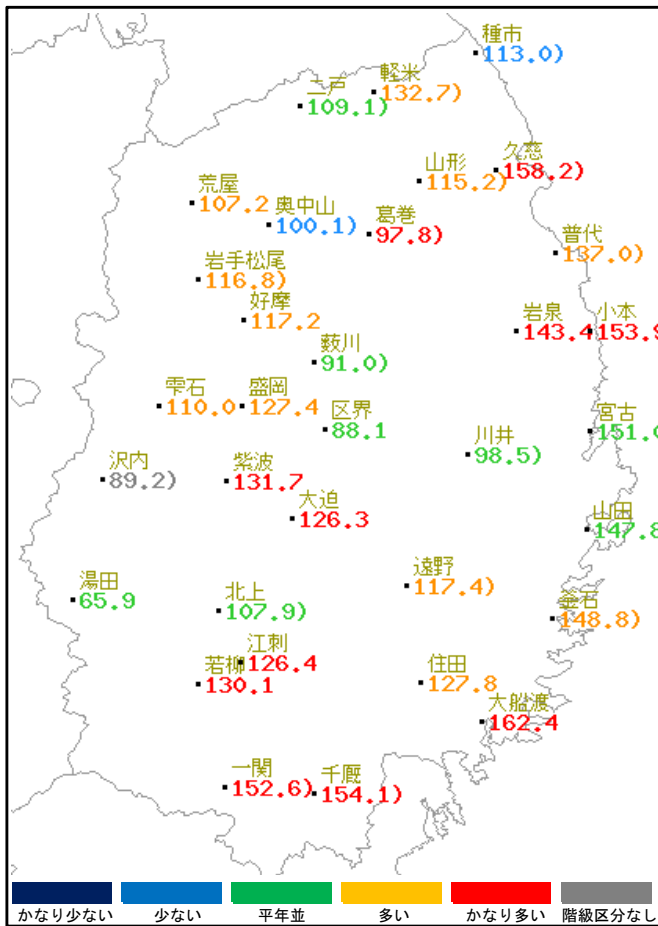
月平均気温平年差(°C)



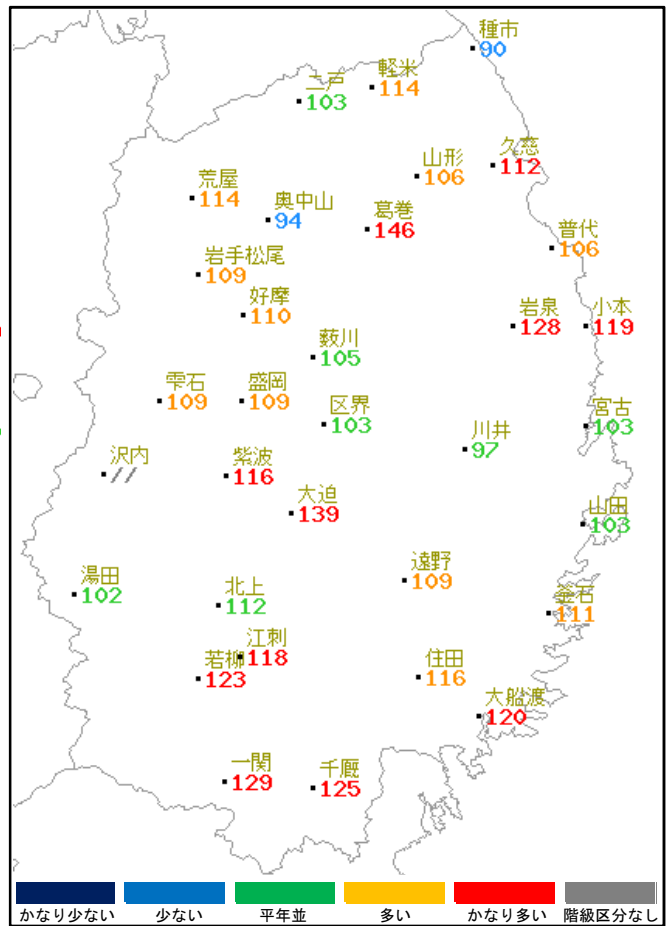
月降水量実況値(mm)



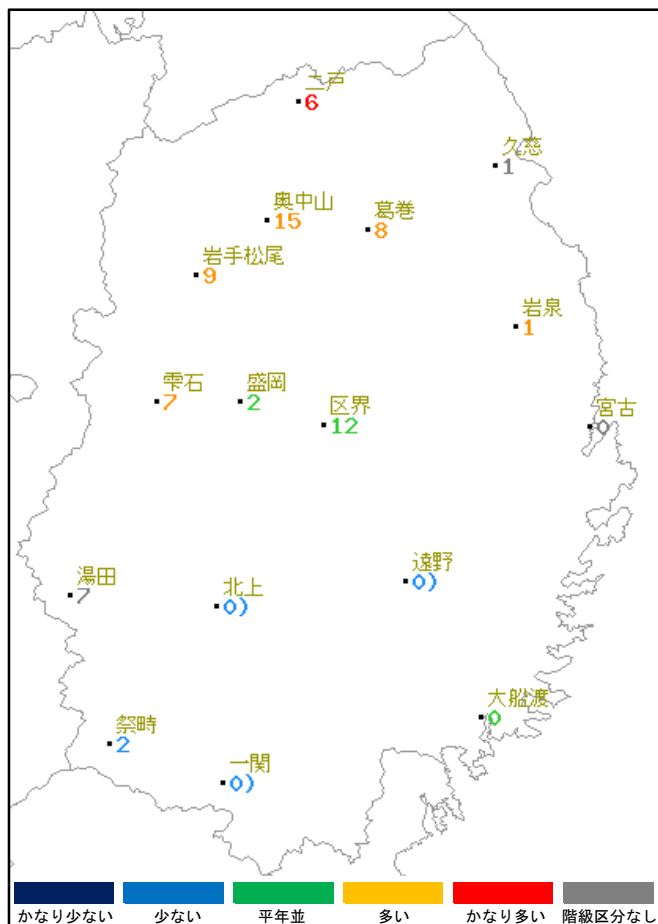
月降水量平年比(%)



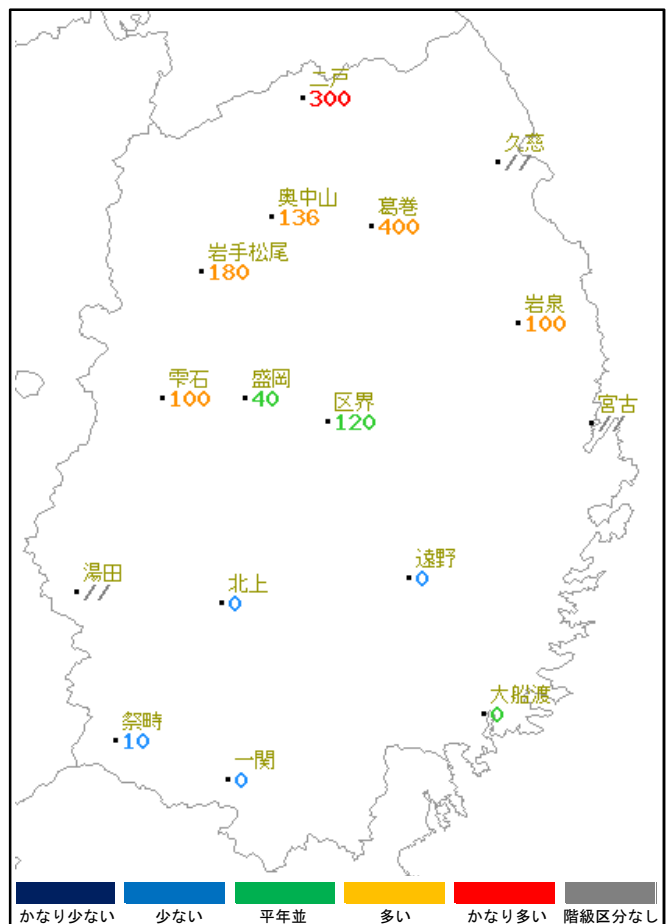
月間日照時間実況値 (h)



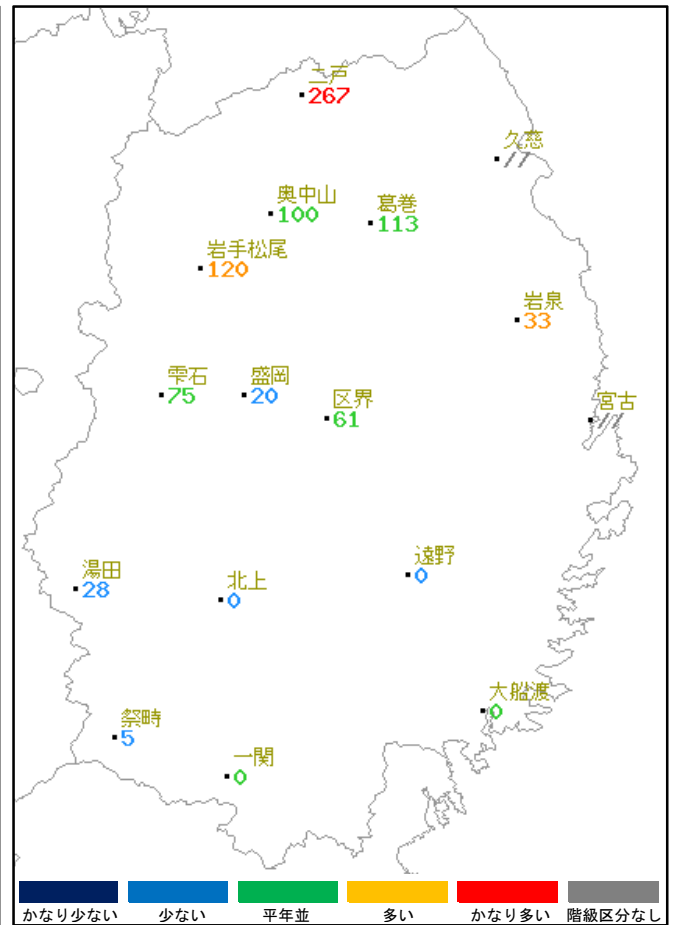
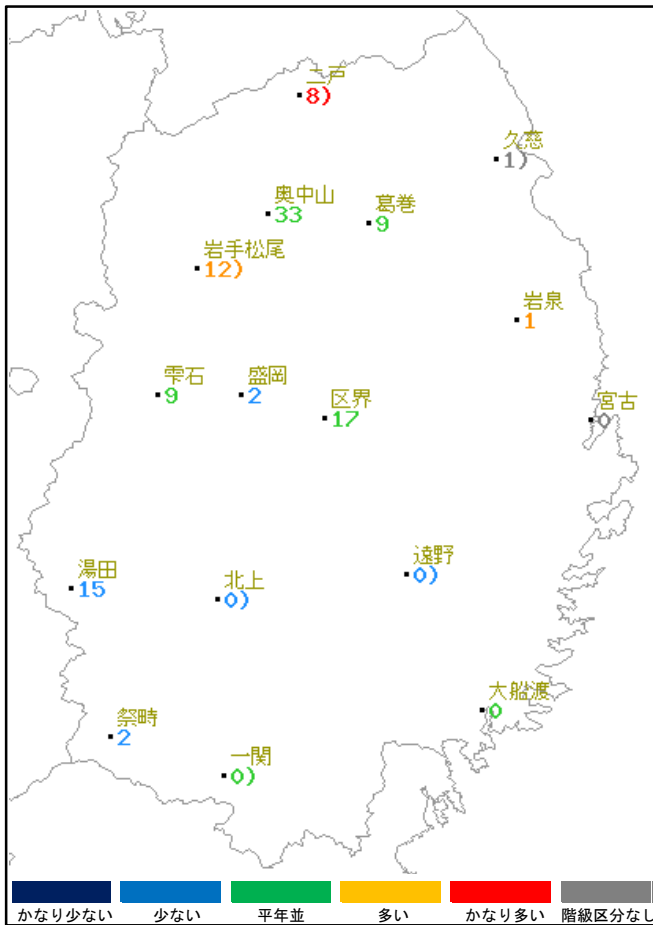
月間日照時間平年比 (%)



月最深積雪実況値 (cm)



月最深積雪平年比 (%)



月積雪差合計実況値 (cm)

月積雪差合計平年比 (%)

記号の意味 ) : 準正常値 ] : 資料不足値 × : 資料なし // : 平年値なし  
 平年値 : 1981~2010年の平均値 (花巻は2003~2010年)

## 6 その他

### ○2020年の台風の発生状況(12月3日現在の速報値)

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2020					1	1		7	4	7	2		22
2019	1	1				1	4	5	6	4	6	1	29
平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

### ○2021年寒候期の季節現象(盛岡)

	本年 (2020年)	平年 (平年差)	昨年 (昨年差)	最早 (年)	最晩 (年)
初冠雪		10月13日	10月9日	9月21日	11月 4日
(岩手山)	10月17日	(4日遅い)	(8日遅い)	(1992年)	(2001年)
初霜	10月28日	10月22日 (6日遅い)	11月4日 (7日早い)	9月27日 (1984年)	11月10日 (2017年)
初氷	10月31日	10月27日 ( 4日遅い)	11月4日 (4日早い)	10月 6日 (1966年)	11月16日 (1990年)
初雪	11月9日	11月 6日※ (3日遅い)	—	—	—

平年値の統計期間は1981年から2010年です。

※2020年2月3日から、観測の自動化に伴い平年値の更新を行いました。

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード(CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 [https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102\\_00.html](https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102_00.html)

#### 【注意事項】

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、盛岡は気象官署、宮古・大船渡は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しています。

なお、本資料の著作権は盛岡地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「盛岡地方気象台の資料に拠った」旨記載して下さい。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

本資料に関する問い合わせ先

盛岡地方気象台 電話019(622)7870